

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス遊	評価指標			評価結果	評価指標	評価結果	評価指標	評価結果
		チェック項目			はい	いいえ	工夫している点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			100	0			
環境・体制整備	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			100	0			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			100	0	車椅子の方も利用できる広めの障害者トイレを設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。			100	0	フローリングと、ゆったりくつろげる和室があります。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			100	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			100	0	指導員同士で、利用者さんとの関わりなどを話す機会を意識的に設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			100	0	アンケート結果を真摯に受け止め、業務改善に努めます。また、その結果を会報で保護者の方にお知らせするように致します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			100	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			43	57	法人として第三者評価を行う予定はあります。利用者アンケートなどを活用し、業務改善につなげていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			100	0	職員に合わせて、必要な学びを提供できるよう機会を確保しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			100	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			100	0	前回のアセスメントからの変更点など、時間を取っていただき、モニタリングを随時行っています。日々成長されていく、お子さんをご家族と放課後等デイサービスで共有ていきたいと思います。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			100	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			100	0			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			100	0	NCプログラムや太田ステージなどを活用し、お子さんの発達段階の参考にしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			100	0			
適切	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			100	0	活動プログラムを児童発達支援管理責任者を中心に話し合いを行いながら立案しております。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	自閉症スペクトラムのお子さんも多く利用されており、パターン化やこだわりにならないよう、プログラムの中身に少しづつ変化をつけています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	集団活動では、お友だちとの関わりや集団生活のルールを学べるよう計画を立てています。また、個別に課題を設定して取り組む計画も立てております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	プログラムの確認、役割の確認、狙い等を職員間で支援前に行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	児童発達支援管理責任者を中心に、各担当者の様子や職員が悩んだことなどを確認し、毎日日誌に記録するようしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	よりよい支援につながるよう、記録について検討していきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	定期的にモニタリングを行い、会議にて職員間で話し合い、達成・継続・計画の変更の必要性を判断しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100	0	身辺自立を含め、お子さんの自立を目指した関わりを行っております。また、将来、お子さんが余暇を楽しめるよう、楽しく取り組める活動が増えるよう取り組んでおります。また、公園や公共施設を利用し、社会のマナーを学ぶ機会をとっております。季節の行事も意識した活動を行っております。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	子どもの状況、ご家庭の状況等を最も把握している児童発達支援管理責任者が参画しています。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0	送迎時に担任の先生との情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0	入学されたお子様が通われていた児童発達センターの職員の方と情報の共有を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0	卒業される方の相談支援員さんを通して、次の障害福祉サービス事業者への連携を確認し、つながった支援ができるよう引継ぎ事項をお伝えしております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0	必要時には積極的に相談させていただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	72	28	普段の活動で公園へ出かけた時には、一緒に遊ぶ機会も多々あり、交流をさせていただけています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	守山区の児童部会や協議会に参加させていただいております。地域の放デイの職員さんとの連携・情報交換・課題の共有などができました。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	連絡帳にて様子を共有したり、ご家庭での様子を教えていただき、お子さんの状況を共有できるよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0	保護者同伴の行事を通して、保護者様との信頼関係を築き、一緒に悩みながら、育てていきたいと考えております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	契約時に重要事項説明書を用いて、利用者負担や遊びのご利用方法を説明させていただいております。また、随時不明な点は児発管に電話等でお尋ね頂いております。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	支援計画の面談時に、確認させていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	子育ての悩みはつきません。真摯に向き合い、一緒にお子さんの成長を喜べるようになります。また、専門機関や適切な相談機関へ繋げられるようにします。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	72	28	法人の後援会の行事、遊の親子参加での行事が保護者同士の交流のきっかけの場となっております。	子どもの成長に合わせて、共に学べる場などを考えていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	苦情受付窓口、苦情解決責任者を設置し、苦情対応規程に則り、対応させて頂いております。また、記録も整備してます。大きな苦情に発展する前に、保護者の方と日々連絡調整できるよう努めており、迅速に誠意を持って対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0	「はじめのいっぽ」という季刊誌を年三回発行させて頂いております。お子さんの活動の様子などをお伝えさせていただいてます。また、	HPでも活動の様子を発信できるよう努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	連絡帳を通して、コミュニケーションを図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	72	28		今後検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	72	28	災害時伝言マニュアルを配布し、練習する機会を設けています。	面談時に保護者に周知できるよう努めます。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	毎月、火事・地震・非常食などテーマを決めて、避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86	14		現在、対象とするお子さんのご利用はありません。アセスメントを毎年行い、アレルギーの情報収集に努めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	72	28		面談時に保護者に周知できるよう努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	ヒヤリハット事例集を作成し、いつでも回覧できる場所に置いてあります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	毎年法人内研修にて、虐待防止のための研修の機会を確保しています。また、日々の振り返りの中でも確認をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0		